

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント Apple Push 証明書年次更新マニュアル

最終更新日 2018 年 9 月 14 日


株式会社オプティム

(c)東日本電信電話株式会社

はじめに

本マニュアルの目的

本マニュアルでは、Apple Push 証明書の年次更新の操作について説明しています。
管理サイト側の基本操作や、各設定項目の詳細については、以下を参照してください。







『管理サイト リファレンス マニュアル』

本マニュアルの見かた


本マニュアルの説明で使用する記号やマークの意味、マニュアルで使用している画面の種類や注意事項は以下のとおりです。

◆記号・マークについて

マニュアルで使用しているマークや記号は以下のとおりです。

記号・マーク	説明
[]	メニュー名、ボタン名、リンク名を表します。
「 」	タブ名や機能名、項目名、マニュアル内の参照先など、強調したい名称を表します。
『 』	参照先のマニュアルを表します。
⇒	操作の結果を表します。
	マニュアルや見出しの参照先を記載します。
	注意すべきことについて説明しています。
	運用や操作のポイントや、知っておくと便利なことについて説明しています。
	画面説明において、該当の画面を表示するためのメニュー操作を記載します。
	 [設定] → [iOS] → [アプリケーション] → [アプリケーション配信] → 

◆画面について

- 本マニュアルはユーザー種別が「管理者」用です。ユーザー種別「管理者」以外で管理サイトにログインした場合は、ユーザー種別に応じて編集や閲覧に制限がかかります。詳細は、以下を参照してください。
『管理サイト リファレンス マニュアル』の「ユーザー」
- 画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。
- Windows の OS バージョンや、ご使用になるブラウザによって、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome で表示した画面を使用して説明しています。

Web サイトの URL について

マニュアルの説明で記載している弊社以外の Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

商標について

- iPhone、iPad は、Apple Inc.の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

1 Apple Push 証明書年次更新	4
1.1 Apple Push 証明書の年次更新	5
1.2 Apple Push 証明書の有効期限の確認	6
1.3 サーバートークンの更新手順	7
1.3.1 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントからダウンロード	7
1.3.2 Apple Push Certificates Portal からダウンロード	8
1.3.3 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントへのアップロード	10

1 Apple Push 証明書年次更新

本マニュアルは、Apple Push 証明書の年次更新についてを記載します。

以下の項目について説明しています。

項目	ページ
Apple Push 証明書の年次更新	5
Apple Push 証明書の有効期限の確認	6
サーバートークンの更新手順	7

1.1 Apple Push 証明書の年次更新

◆ 機能目的

Apple 社の提供する Apple Push Notification Service (APNS) の証明書は 1 年に 1 度更新する必要があります。証明書の有効期限が切れてしまうと、iOS の管理ができなくなります。さらに、iOS 機器とオフィスまるごとサポートデバイスマネジメントサーバーの通信が行えなくなりますので、リモートワイプ、リモートロックを含む機能が利用できなくなります。

Apple Push 証明書の有効期限が 60 日前になると、オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントのダッシュボード上で日時を赤字で強調した表示に切り替わります。Apple Push 証明書の更新が必要な時期の合図となりますので、以下の手順に従い更新作業を行ってください。管理サイトを構成する各画面と機能の概要について説明します。

◆ 手順

- 管理サイトで証明書の情報を確認する
- Apple Push Certificates Portal にログインする
- 証明書の更新を行い、ダウンロードし保存する
- 新たに保存した証明書を管理サイトにアップロードする

◆ 注意事項

証明書の有効期限が切れると、以下のような影響が起こりますのでご注意ください。

- iOS 機器とオフィスまるごとサポートデバイスマネジメントサーバーの通信が行えなくなります。
- リモートロック、リモートワイプを含む機能が反映できなくなります。
- iOS 機器をオフィスまるごとサポートデバイスマネジメントの管理下に戻すには、再度構成プロファイルの認証を行います。

1.2 Apple Push 証明書の有効期限の確認

有効期限は、以下の手順で確認できます。(A)「有効期限」が切れないようご注意ください。

ダッシュボードで確認

- 【1】 [オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント] をクリックします。

1

Apple Push 証明書の画面で確認

- 【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [Apple Push 証明書] をクリックします。

1

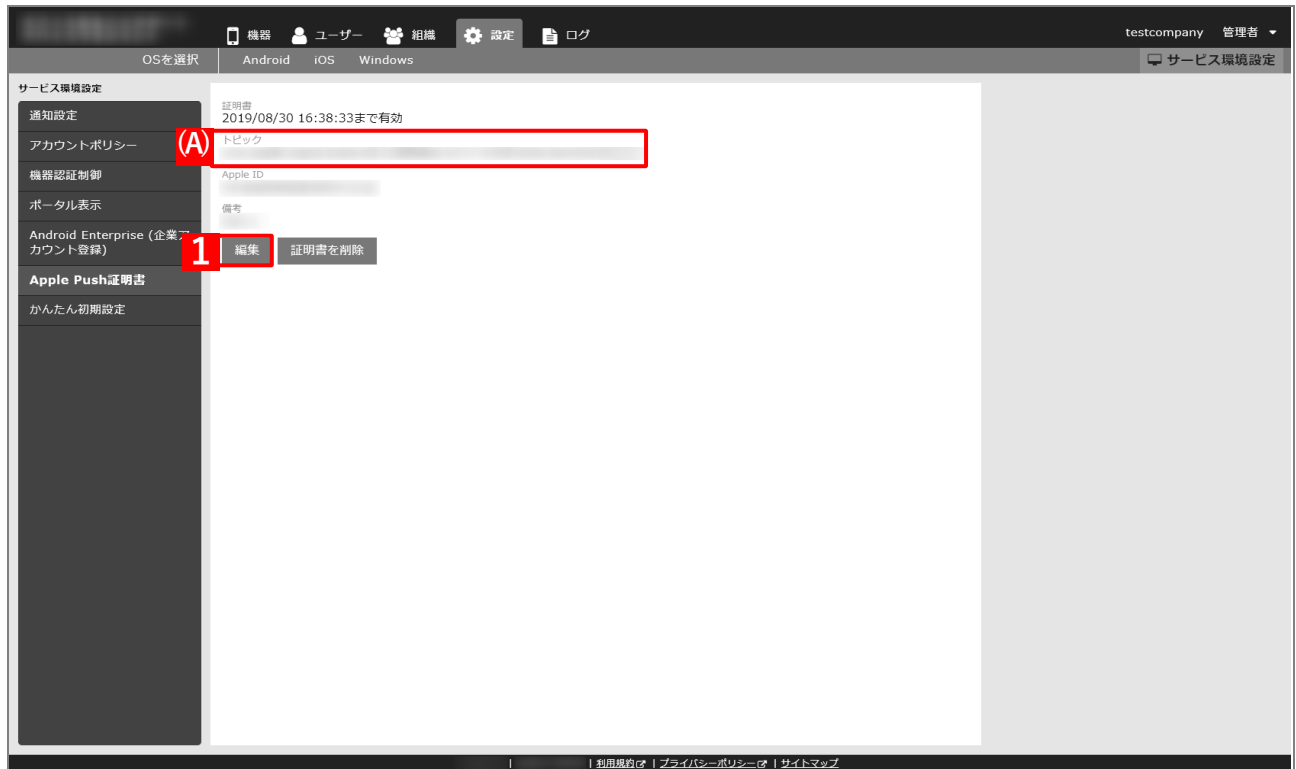
1.3 サーバートークンの更新手順

1.3.1 オフィスまるとサポートデバイスマネジメントからダウンロード

更新に必要なファイルをオフィスまるとサポートデバイスマネジメントの管理サイトからダウンロードします。

🔗 Apple Push 証明書の有効期限は 1 年間になります。

- 【1】** [設定] → [サービス環境設定] → [Apple Push 証明書] → [編集] をクリックします。
⇒ (A)「トピック」の値は、証明書の確認に必要となります。書き留めておきます。



- 【2】** 「1.署名済みの証明書要求(CSR)ファイルの生成とダウンロード」の [ダウンロード] をクリックします。

⇒ 証明書登録に必要なファイルのダウンロードが開始されます。

🔗 ファイルは任意の場所へ保存します。

- 【3】** 「2.証明書ファイルの取得」の「<https://identity.apple.com/pushcert/>」をクリックします。

🔗 Internet Explorer では Apple Push Certificates Portal サイトを表示できないため、Safari、Google Chrome、Firefox などのブラウザで開いてください。

1. 署名済みの証明書要求(CSR)ファイルの生成とダウンロード

署名済みの証明書要求(CSR)ファイルをダウンロードしてください。

2 ダウンロード

2. 証明書ファイルの取得

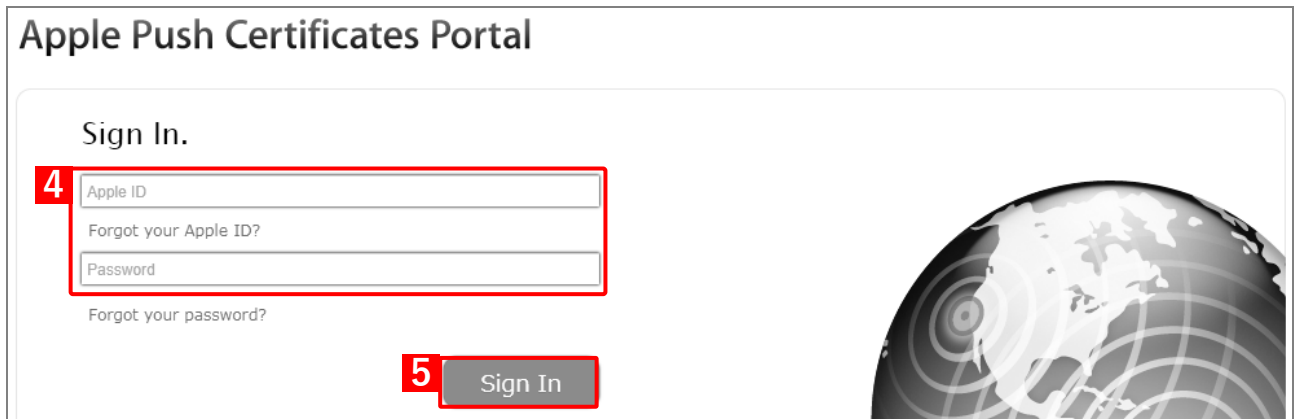
以下のリンクより「Apple Push Certificates Portal」にログインし証明書を取得してください。
証明書ファイルは、署名済みの証明書要求(CSR)をアップロードすることで取得できます。

3 <https://identity.apple.com/pushcert/>

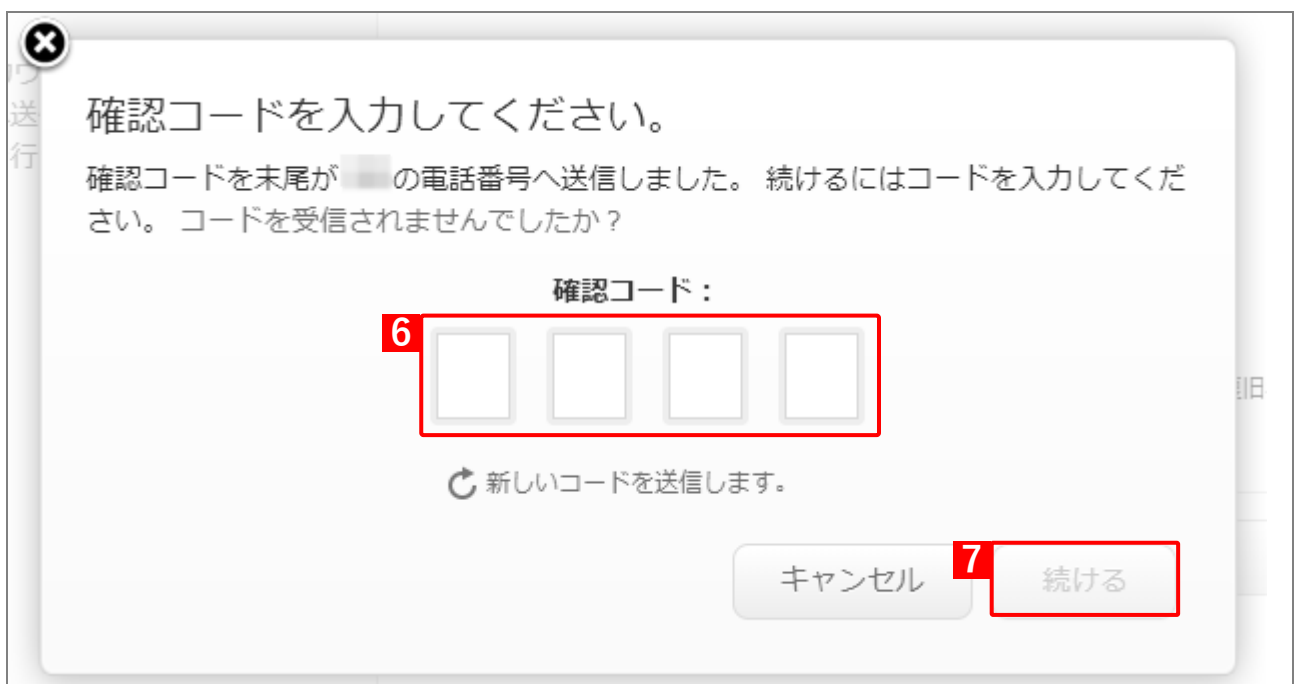
※Internet ExplorerではApple Push Certificates Portalサイトを表示できないため、Safari、Google Chrome、Firefox等のブラウザで開いてください。
※証明書を1年に1回更新する必要があります。証明書の有効期限が切れた場合、本製品はご利用いただけなくなります。

1.3.2 Apple Push Certificates Portal からダウンロード

- 【4】 Apple ID とパスワードを入力します。
- 【5】 [Sign In] をクリックします。

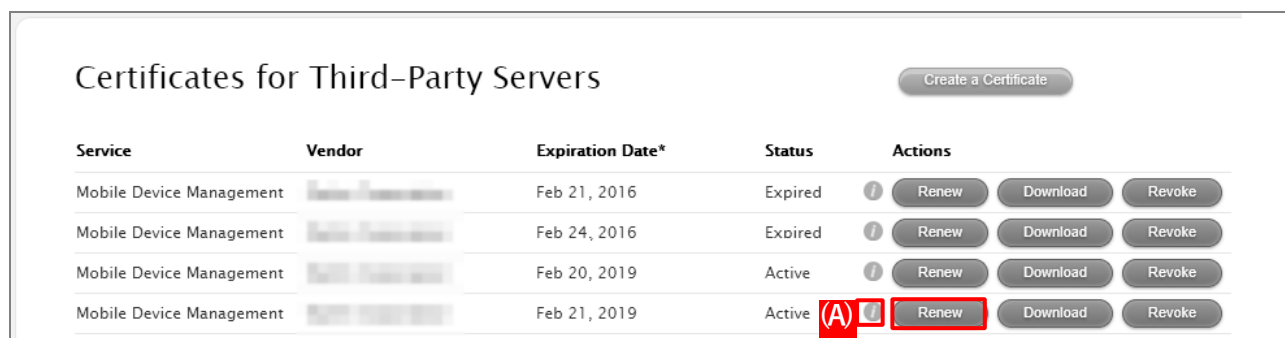


- 【6】 4桁の確認コードを求められるので入力します。
✎ 状況により表示されない場合がございます。表示されない場合は、手順【8】へ進んでください。
- 【7】 [続ける] をクリックして先に進めます。



【8】更新する証明書（前回登録した証明書）の [Renew] をクリックします。

- ☞ (A) ⓘ をクリックすると、証明書の詳細情報が表示されます。"UID="の後ろに書いてある値と手順【1】で控えておいたトピックの値が同じであることを確認し、更新する証明書に誤りがないかを確認してください。



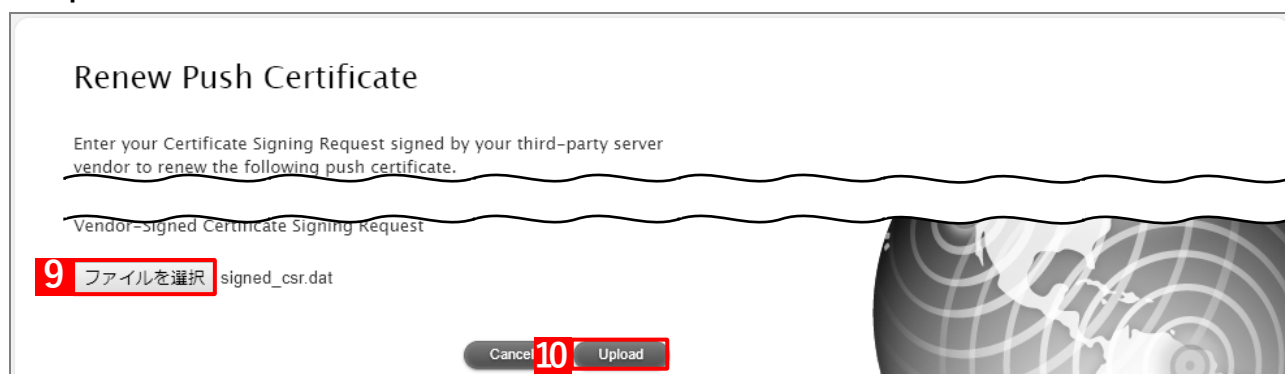
【9】 [ファイルを選択] をクリックします。

⇒手順【2】でダウンロードしたファイルを指定します。

- ☞ブラウザにより「ファイルを選択」の表記が異なる場合があります。

- ☞選択したファイル名が「ファイルを選択」の右側に表示されます。

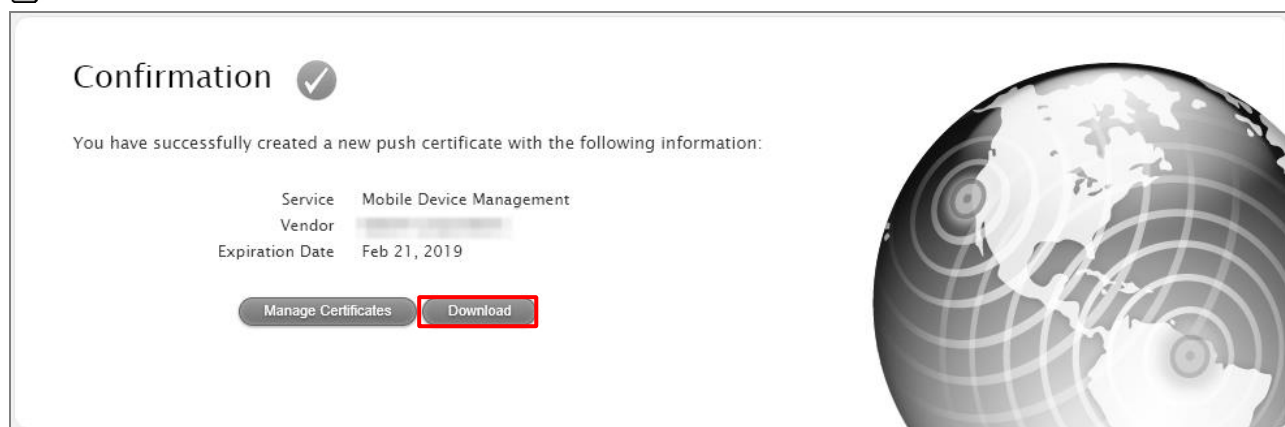
【10】 [Upload] をクリックします。



【11】 Apple Push 証明書の登録が完了しました。[Download] をクリックします。

⇒作成された証明書のダウンロードが開始されます。

- ☞任意の場所に保存します。



1.3.3 オフィスまるごとサポートデバイスマネジメントへのアップロード

【12】 管理サイトに戻り、「証明書ファイルの登録」の「ファイルを選択」をクリックします。

⇒ Apple Push Certificates Portal で作成した証明書ファイルを指定します。

✎ ブラウザーにより「ファイルを選択」の表記が異なる場合があります。

✎ 選択したファイル名が「ファイルを選択」の右側に表示されます。

✎ 「Apple ID」には、証明書発行のときに利用した Apple ID を入力してください。

【13】 「保存」をクリックします。

3. 証明書ファイルの登録

2.より作成した証明書ファイルを指定してください。

12 ファイルを選択 選択されていません

Apple ID (証明書発行の際に使用されたApple IDを以下に記載してください。)

備考

13 保存 取消

【14】 「証明書を変更しました。」と表示されます。

⇒ 更新が完了しました。

① 証明書を変更しました。

証明書
2019/02/21 18:16:18まで有効

トピック
[トピック名が不明です]

Apple ID
[Apple IDが不明です]

備考
[備考が不明です]

編集 証明書を削除